

令和6年12月19日  
航空局航空戦略室北海道においてSAF導入促進の実証事業を実施します  
～将来のSAFサプライチェーン構築に資する取組～

航空分野の脱炭素化に欠かせないSAF※の流通を促進する取組の一環として、北海道で将来のSAFサプライチェーン構築に向けた実証事業を行います。

※SAF（Sustainable Aviation Fuel：持続可能な航空燃料）は、バイオマス原料等を基に製造されたジェット燃料で、化石由来のジェット燃料と比較して約60%～約80%のCO2削減効果があります。

航空脱炭素化と航空ネットワーク維持のためには、地方の空港においてもSAFを確実に供給・利用できることが重要です。

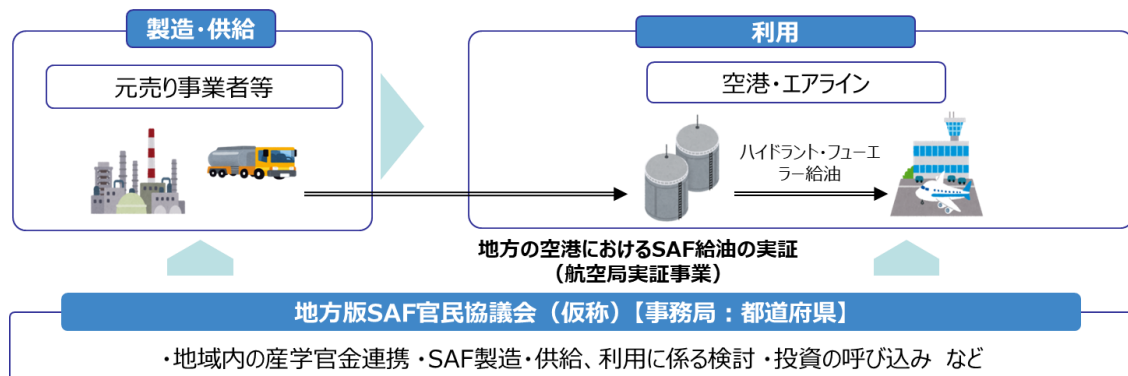
国土交通省では、将来SAFの製造・利用を見込む地域において、サプライチェーン構築に資する実証事業を行います。具体的には、ENEOS株式会社（本社：東京都千代田区）からの提案を受け、同社が北海道において周辺自治体や企業等と連携しSAFの空港への輸送及び給油に係る実証を行います。

## 【実証事業概要】

事業主体：ENEOS株式会社

取組内容：SAFの地方空港への輸送・給油及び課題抽出

輸送経路：①苫小牧埠頭～新千歳空港 ②苫小牧埠頭～旭川空港



## &lt;問合せ先&gt;

国土交通省航空局航空戦略室 村瀬・川西・山口

TEL：03-5253-8111（内線48173）、03-5253-8722（直通）